

科目名		住宅計画演習			
担当教員		星野 麻子		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	独立した一戸建て住宅を題材として様々な課題に取り組む。まずは一般論としての住宅計画の手法を学び、その上でオリジナル住宅の計画としてプランニングを行う。住宅の設計手法の基礎を習得し、様々な課題に於いてエスキスを完成させる。各課題に於いてフィードバックを行い技術向上を目指す。				
学習目標 (到達目標)	ゾーニングや動線計画の上、室や家具・設備機器の大きさ等を考慮したエスキスを完成させる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	図解 すまいの寸法・計画辞典 ・ 配布プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	快適な空間とは			快適な居住空間の為に配置計画や採光を考慮したプランニングを考察して習得する。	
2	快適な暮らしとは			毎日を快適に過ごす為にゾーニングや動線計画を考慮したプランニングを考察して習得する。	
3	一般的な住宅プランとは			標準的な住宅プランを基に各室のプランニングの基礎を学ぶ。それを一つのパターンとして習得する。	
4	課題1.オリジナル住宅エスキス(家庭菜園を楽しむ家)			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
5	課題2.オリジナル住宅エスキス(ケーキショップ併用住宅)			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
6	課題3.オリジナル住宅エスキス(多目的室(和室)のある三世代住宅)			建物の規模の算定を行い、建物を配置後平面計画を行う。エスキスを完成させて提出し、フィードバックを行う。	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題1	課題2	課題3	取組姿勢	建築士試験の製図試験に取り組むにあたり、必要となる設計手法の基礎となる部分です。設計条件と考え方の流れを意識して取り組みましょう。方角や道路の位置等も考慮してプランニングを行い、快適に過ごせる設計となるよう計画していきましょう。様々な要求を加味してプランニングをする際のカチッとパズルがはまるような達成感を楽しみましょう。	
30 %	30 %	30 %	10 %		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	住宅設計に11年間従事				